



由布市 YUFU CITY COUNCIL

議会だより

No. 74
2024年5月



由布川峡谷

CONTENTS

●令和6年第1回臨時会	1
●令和6年第1回定例会	
概要（当初予算以外）	1
議案質疑	2
令和6年度当初予算概要	3～4
令和6年度当初予算質疑	5～6
常任委員会報告	7～9
視察報告（議会運営委員会）	10
●市政を問う（一般質問）	11～14
●後期高齢者医療広域連合議会報告	14
●請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等	裏表紙

令和6年 第1回由布市議会臨時会 概要

令和6年第1回臨時会が2月13日の1日間開催され、今臨時会で上程された事件として議案2件を審議し、議案は全て原案可決しました。

議案

◎由布市使用料及び手数料条例の一部改正について

※戸籍謄本等の広域交付及び戸籍電子証明書提供用識別符号等の発行に係る手数料を定めるため。

一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額に2億286万4千円を追加し、総額を229億3,582万2千円とする。

「歳入」

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 … 2億6,227万2千円

「歳出」

・臨時給付金（住民税均等割のみ課税世帯、低所得子育て世帯）…

1億8,067万9千円

・指定ゴミ袋配布業務手数料等 … 2,218万5千円

令和6年 第1回由布市議会定例会 概要

令和6年第1回定例会が2月26日から3月18日までの22日間開催されました。今定例会で上程された事件として報告3件、議案39件、請願2件、陳情1件を審議しました。請願・陳情は1件を採択、2件を継続審査とし、議案は全て原案可決しました。当初予算を除く概要は下記のとおりです。

主な提出議案

《副市長・監査委員の選任》 ・令和6年3月31日をもって任期満了となるため。

副市長 こいし ひでき 小石 英毅（再） 監査委員 おおつか やすお 大塚 裕生（再）

《その他の議案》

◎由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

・令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に支給する給与の100分の3を減じる。

◎由布市税条例の一部改正について

・令和6年10月1日から令和12年3月31日までの期間に限り、現行150円（宿泊基本料金4,001円以上の者）である入湯税を250円に改正。

◎由布市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

・消防団員の報酬の改定及び支給方法を定める。出勤報酬は、水火災その他の災害等1日につき8,000円（4時間以内は4,000円）但し、待機の場合は1日につき2,000円とするなど。

◎市道路線認定について（3路線）

・若杉3号線（湯布院町）、若杉4号線（湯布院町）、鹿倉線（庄内町）

《予算》（当初予算を除く）

◎令和5年度由布市一般会計補正予算（第11号）

歳入歳出それぞれに5千47万7千円を追加し、総額229億8,629万9千円とする。

（歳出予算概要）

○市民提案型連携協働事業 …… △650万円

○みらいふさと寄附金推進事業 …… 5億円

○保育所活動給付事業（施設型給付費） …… 1億211万6千円

○鳥獣被害総合対策事業（有害鳥獣捕獲事業補助金） …… 809万3千円

○デスティネーションキャンペーン推進事業負担金 …… △535万円

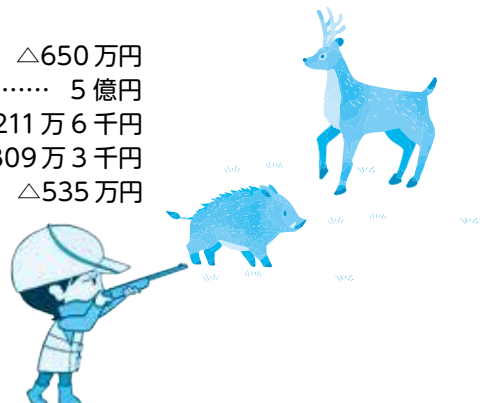
◎令和5年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

◎令和5年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）

◎令和5年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

◎令和5年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

◎令和5年度由布市水道事業会計補正予算（第4号）



議案質疑

由布市税条例の一部改正について

Q 現状で入湯税を課している人数の確認はどのようにしているのか。

A 毎月、特別徴収義務者である宿泊施設等から提出される入湯税の納入申告書に報告のあった人数を、入湯税の課税対象者数として確認している。

Q 入湯税を課している市内の旅館、ホテル、簡易宿泊所、農泊の数はいくらか。

A 特別徴収義務者は、令和4年度から、県の中部保健所の温泉利用台帳に登録されている宿泊事業者や簡易宿泊所等の把握をしており、今現在240件ほど。

由布市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

Q 待機の解釈の仕方は。また、災害時の出動の解釈は。

A 待機は、台風・大雨などの警報時点で注意喚起や待機をしたが、災害が発生せず解散した場合などを想定している。大雨発生中、台風襲来中、その後については災害対応の出動となる。災害状況の確認も、発災後の災害対応の出動となる。連絡員も、同様の対応をさせていただきたい。

令和5年度由布市一般会計補正予算（第11号）

Q 市民提案型連携協働事業650万円の減額理由は。

A 令和5年度当初予算では、交付限度額となる1,000万円を計上していたが、採択された湯平アートサイトの事業計画では、1年目となる本年度に350万円が必要とのことから減額となった。

Q みらいふるさと寄附金推進事業で、災害代行寄附金について詳細を。

A 災害代行寄附金は、ふるさと納税制度を利用し、被災した自治体への寄附を他の自治体かわりに募集することができるもの。今回補正した寄附金1,500万円は、由布市が募集する災害支援金として個人から受付け、その中から寄附証明書の発行等の手数料を差し引いた全額を珠洲市へお送りする。珠洲市とは、由布市とともに日本クアオルト協議会に参画している同志として、今後も協力関係を築いていきたい。

Q 同事業、寄附金取扱業務2,529万9,000円の減額理由は。

A 委託料は送料やインターネットサイトの掲載料等の費用に充てていたが、今回この経費が想定よりも抑えられる見込みとなったため減額するもの。

Q 入会地分収交付金事業571万7,000円の増額理由は。

A 市有地の貸付け、増林木の処分、立木補償に伴う代金を、覚書に基づいて入会権者に交付するもので、補正は実績に基づくもの。

Q 地域おこし協力隊事業405万3,000円の減額理由は。

A 2名の隊員が在籍していたが、1名は7月末に3年間の任期を終え退任、もう1名が9月末に任期途中で退任されたことによる減額。

Q 介護保険事業、地域介護・福祉空間整備等の補助金773万円の詳細は。

A 認知症対応型グループホーム1施設への補助金。改修内容は、高齢者に適した浴室設備の導入や車椅子利用者の動線が確保できるよう各部屋の間取り等を改修するもの。

Q 保育所活動給付事業1億145万1,000円の増額補正の詳細は。

A 教育・保育施設に支払う施設型給付費1億211万6,000円の増額と、幼児教育・保育の無償化に係る施設等利用給付費66万5,000円の減額を合わせた補正となっている。

Q 道路維持事業1,000万円の増額理由は。

A 現在、橋梁補修工事をしている同尻橋において、以前より通学路安全対策会議からの要望があった転落防止柵を、この機会に設置するもの。

Q 道路整備事業（防衛調整交付金事業）1億円の減額理由は。

A 現在、八山橋の橋桁の工場製作と護岸工事をしているが、桁の架設工事が実施できなかったことにより減額するもの。

Q 緊急自動車購入事業、備品購入費706万5,000円の減額理由は。

A 高規格救急車1台を購入する事業において、入札の結果により減額するもの。

Q 当初予算15億5,000万円の農業用施設災害復旧工事費について、9,832万7,000円の減額補正の詳細は。

A 令和2年災を優先的に発注しており、令和3、4年災も随時発注しているが、発注が追いついていない状況から、9,832万7,000円が未発注分となったため減額するもの。

みんなで進める持続可能なまちづくり
旧湯布院公民館跡地整備事業



跡地の造成、舗装、
水路の付け替え、
学校スロープ等の工事

1億7,858万円

みんなで進める持続可能なまちづくり
消防広域化事業



消防指令システム
共同運用に伴う費用

2億9,881万円

一人ひとりの力を生かせるまちづくり
重層的支援体制整備事業



福祉課が中心となり他機関との
協働業務により高齢者、
障害者等の支援を行う事業

1,568万円

経済の循環から地域が潤うまちづくり
就労機会促進業務



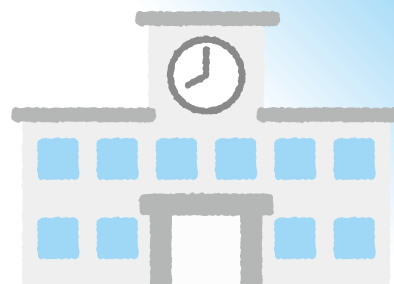
短期雇用にて化した市独自の
マッチングシステムを構築し、
運用するための費用

1,133万円

人や文化を育むまちづくり 挟間小学校増築工事

挟間小学校増築に伴う、
造成建築工事費用

8億7,253万円

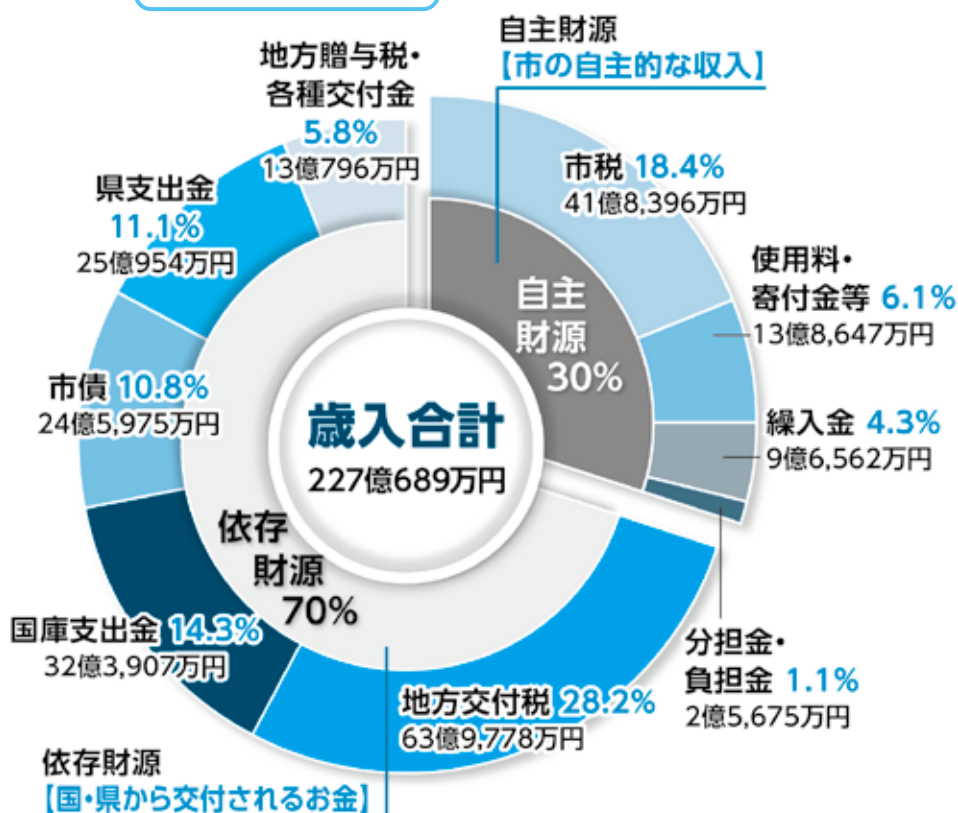


変革期・ まちづくりを

令和6年度 一般会計当初予算
前年比 20億5千万円増

一般

市に入るお金

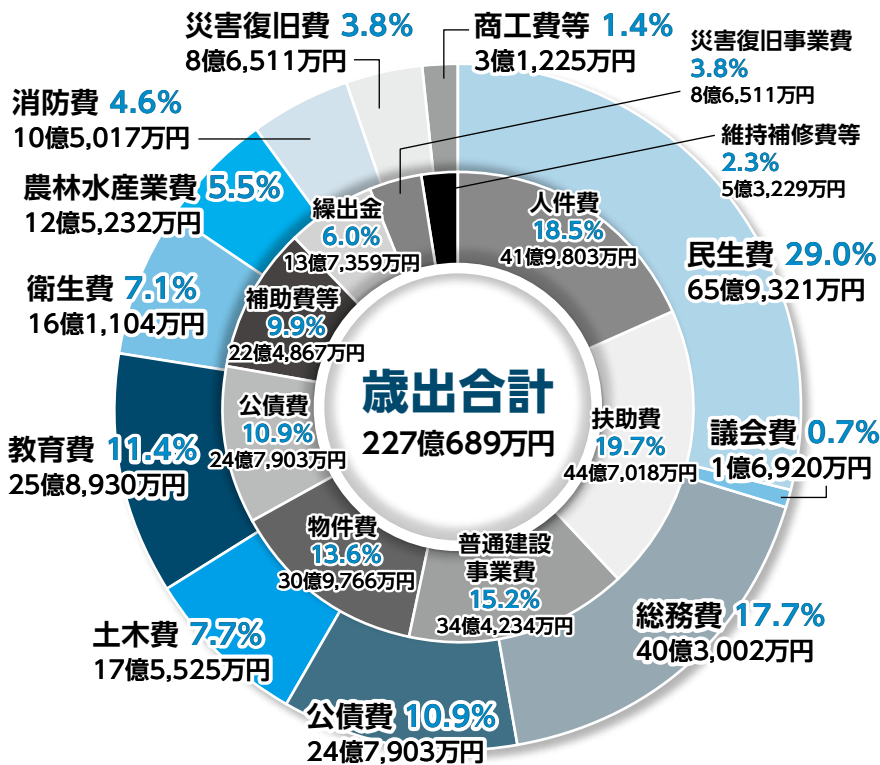


持続可能な 目指した予算

227億689万円を可決

会 計

使いみち



【令和6年度の各会計の予算額】

会計名		令和6年度当初予算額	前年度比
一般会計		227億690万円	20億5,278万円
特別会計	国民健康保険	40億847万円	△6,242万円
	介護保険	44億2,891万円	6,734万円
	後期高齢者医療	6億6,210万円	1億1,271万円
	農業集落排水事業	8,738万円	△3,954万円
	計	318億9,376万円	21億3,078万円
水道事業	収益的収入	8億8,225万円	464万円
	収益的支出	8億3,702万円	△1,396万円
	資本的収入	8億4,402万円	3億1,782万円
	資本的支出	11億5,217万円	2億8,660万円

豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり
由布市に住みたい事業



定住促進住宅情報制度(空き家バンク)を利用した方等、由布市に移住された方に対し補助金を交付するもの

5,485万円

豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり
新環境センター整備事業



新環境センター整備事業の
今年度分担金

1億1,937万円

地域を知り、表現するまちづくり
デスティネーションキャンペーン推進事業



JRが行うデスティネーション
キャンペーンに伴う、
周遊バスツアーやスタンプラリー等の費用

1,542万円

物価高騰緊急対応事業

物価高騰による影響を軽減するため
農業、商工、学校等それぞれに対応する事業

児童福祉 … **1,545万円**

農業振興 … **1,800万円**

畜産振興 … **600万円**

商工振興 … **1,070万円**

学校給食 … **2,121万円**

令和6年度 当初予算

質疑

<一般会計予算>

Q 市民税（個人分）が 5,745 万 7 千円増、固定資産税も 4,508 万 9 千円増。原因は。

A 市民税については、コロナ禍からの経済、景気回復に伴う雇用環境の改善が主な要因。R4～5年で納税義務者の総所得金額が9億1千万円伸びており、R6年度についても伸びを見込んでいる。固定資産税については、挟間地域を中心に新築家屋が増加、それに伴う造成工事による農地の宅地化、そして償却資産の増加が主な要因。

Q 入湯税の算出根拠は。また、宿泊施設や温泉を利用する老人ホーム等の把握は。

A R5年度4～10月までの実績と、そこから割り出した平均を5ヶ月分合算したものを当初予算としている。施設は、中部保健所の温泉利用台帳を調査し把握している。老人ホーム等も数に入っているが、免除するようになっている。

Q 庄内ゆうゆう館の使用料 54 万 4 千円、佐賀国体の準備のため使用しているが、その金額は。

A 国民スポーツ大会（旧・国体）準備のため、4～11月まで佐賀県との契約で38万4千円。その他、一般の方の使用料16万円で、合計54万4千円を計上。

Q 公共施設等総合管理計画策定事業について、昨年、個別計画見直し支援業務として120万4千円を計上。さらに今年度99万7千円を上乗せする理由は。

A 公共施設個別計画は、R10年度の見直しに向けて進めている。R6年度は、R5年度に作成した基準を基に各施設を評価し施設方針判定の確認を行う。そして、R7年度に公共施設建築物や地図データの更新、及び人口動向や施設の状況等の分析の見直し等を行い計画の素案を作る。

Q 湯平共同温泉管理事業の工事内容の詳細は。

A 湯平の新泉源は温度が高いが自噴しないことから、動力（エアリフト）を使うことを検討し、地元と協議した。まずエアリフトの用途試験を行い、詳細確認後に設置本工事を行う。
※エアリフトとは、圧縮空気です水を揚げる工法

Q 市民提案型連携協働事業について、これまでの事業も含めて事業計画の説明を。

A R6年度は、R7年度実施事業の採択を行う。R5年度分として採択した湯平藝文会湯平アートサイト事業は、アート作品の製作等の事業を実施。R6年度分として採択したイオン挟間店の移動販売の取組みで、まちづくり協議会で実証実験中の移動販売車の台数を1台増やし稼働範囲を広げ、地域拠点に無人販売店舗を設置するという概要。

Q 地域コミュニティ形成促進事業、旧大津留小学校プール解体工事とあるが、その理由と解体後の利活用は。

A 更衣室も含めて、築後40年以上経過しプールとして利用できない状況であり、公共施設改修計画にはR6年度解体の計画となっている。解体後は、駐車場の増設や催しスペース、大津留マーケット、グラウンドゴルフ大会等イベントで、幅広く活用を予定。

Q 湯平温泉復興まちづくり推進事業について、工事内容の詳細は。

A 緊急避難施設整備工事2億3,100万円、および緊急避難施設の敷地造成工事495万円。

Q 旧公民館跡地整備事業について、工事請負費1億8,000万円の詳細は。また、バス業者の土地部分も工事するのか。

A 詳細は、土木工事1億5,746万円、市道乙丸線の改修449万円、学校スロープ工事1,663万円。バス業者とあらかじめの合意が取れているが、金額の確定には至っていない。バス業者の土地部分におけるロータリー整備も計上しているが、その部分は負担金で市へ入らせていただく形を想定。

Q 道の駅ゆふいん整備管理事業の具体的な内容は。

A 合計で3,250万円を計上している。委託料は、設計2,750万円、地質調査500万円。設計の本体設計は1,950万円、地質調査はボーリング調査10mの2本を想定している。今後、防災、観光、交通の結節点として、より強化し、由布市全体に訪客の方をつなぐ、由布市のゲートウェイ機能を成しとげる道の駅を目指す。

Q 障がい者タクシー料助成事業を新規事業で564万円計上。詳細は。

A 一定基準に該当する方に、1回500円のタクシー利用券を24枚（年12,000円）交付するもので、4分の3は国県補助金を充当。希望者は、挟間・湯布院地域振興課、または庄内庁舎の福祉課へ申請が必要。

Q 児童手当事業6億71万円は、改正後の高校生の分なのか。

A R6年10月から実施される高校生年代までの支給延長、第3子以降の増額、所得制限の撤廃を見込んだ額。支給開始月は12月。

Q 病児・病後児保育事業が県下広域に利用できるようになった効果は。

A 今年度分のデータ（8ヶ月分）による利用延べ人数は、大分市での利用が72人、別府市の利用が7人。利用者が増えている状況であり、広域化の効果はあったと考えている。

令和6年度 当初予算質疑

Q 健康温泉館利用促進事業、工事内容の詳細は。

A 施設の経年劣化により各配管が破損している。内容は、浴室の浴槽、トイレ等の配管改修、壁の改修、ジャグジー用ろ過装置の更新。

Q 妊産婦検診等支援事業について、2種類あるが詳細は。

A 近隣に産科医療機関のない妊産婦が安心して子どもを産む環境づくりを推進するため、交通費等を支援する事業。1つ目は県の補助事業で、自宅から最寄りの産婦人科まで20km圏外の妊婦が対象。出産準備等に係る宿泊費の助成(上限5日間、1回5,000円まで)もある。2つ目は、県の補助がない20km圏内の方へ、物価高騰緊急対策事業により交通費等を支援する。いずれも、母子手帳と同時に申請が必要。

Q ごみ減量化対策事業について、生ごみ処理機の購入費補助金についての詳細は。

A R6年度は、電気式生ごみ処理機購入費補助金は上限3万円として30世帯分、非電気式生ごみ処理機購入費補助金は上限3千円として30世帯分の予算を計上。

Q 集落営農促進事業について、法人である(株)ゆふ農業サポートに支出する理由は。

A 集落対策活動委託料241万5千円については、農業集落の維持・活性化を推進するための支援業務を、前身の組織であった由布市集落営農法人連絡協議会の時から委託し、併せて体制の強化・法人化を進めること及び経営の安定化を図ることを目的とし3年間予算計上してきた。昨年度の半額になるが、市として必要と捉え予算計上した。農作業受託面積の拡大や新規作物の産地化等を基盤とし、自立経営の確立に向け県と共に指導していく。

Q 飼料価格高騰緊急対応事業助成金1,800万円の内訳と、昨年比100万円減額理由は。

A 繁殖雌牛で1万円を1,145頭、肥育牛で3万4千円を85頭、乳牛で1万9千円を159頭、及び若干の増頭を期待した分を合わせ1,800万円を計上。物価高騰等によって廃業された農家があり、昨年より100万円減額となった。

Q 観光振興事業の委託料、西のゴールデンルートプロモーション事業の詳細は。

A 福岡市が中心となり発足し、由布市を含む行政15団体と、国、民間会社、DMO等が入った中で推進体制が取られます。西日本全体が一つになって、欧米豪の旅行客にターゲットを絞ってプロモーション活動をするもの。

Q 由布市まちづくり観光局に対して、年間どれだけの予算を出しているのか。

A T I Cの指定管理委託料720万円、観光のプロモーションとマーケティングの委託料1,651万4千円、運営の補助金2,359万円。

Q 災害対策環境整備事業について、災害時非常用備品の内容は。

A 災害時備蓄食料、水、生理用品、及び避難所用ブルーシート等。備蓄物資に関する考え方は県の基本方針があり、それに基づいて考えている。備蓄の数量も計画的に増やしていきたい。

Q 幼稚園施設管理事業の工事請負費の詳細と、工事後の利活用は。

A 阿蘇野幼稚園の園舎解体836万円、由布院幼稚園の遊戯室解体1,165万3千円。また、アスベストの調査分析業務として、阿蘇野幼稚園分60万円、由布院幼稚園分116万5,300円も関連している。解体後の利活用は未定。

Q 歴史民俗資料館維持管理事業について、今は週1日の開館だが、今後の計画は。また、古野の遺跡も保存されているが、由布川コミュニティセンターの一部に移動出来ないか。

A 文化財としての価値を保つため、収蔵している資料を整理、分類する作業をしている。今後は、誰もが気軽に訪れやすい場所での展示に向け、場所の選定や展示方法を検討している。古野の遺跡を移設することは可能だが、保管場所や関係機関との協議が必要と思われる。

Q 農業施設災害復旧費について、元治水で小水力発電を計画しているが流量が足らないと聞いており、災害によりさらにポンプを設置しなければならない。いつ完成するのか。

A 施設はすでに完成しており、新年度より試運転に入ると聞いている。

<由布市国民健康保険特別会計予算>

Q 特定健診・特定保健指導事業について、前年比235万円減額理由、また健診率は。

A R5年度は受診率55%を設定したが、R6年度は現状に近い50%と設定したので減額となった。健診率は、R4年度44.8%で、県下8位。年々減少している状況。

Q 保健衛生普及費について、258万6千円の減額はデータヘルス計画終了という事だが、今後の対策は。

A R5年度に第3次データヘルス計画の作成が終了したための減額。この計画の実施期間がR6～11年度の6年間とし、市民の健康増進のため保健事業の推進を行う。年度ごとに目標達成状況等を確認し、R8年度に中間評価、R11年度に次期計画を策定予定。

総務常任委員会

塚原辺地及び湯平辺地に係る総合整備計画の変更について

総合整備計画に公共的施設の整備計画及び辺地対策事業債の予算額を追加するもの。塚原辺地に係る計画では、尾下線を追加し計画変更し、湯平辺地計画については、新たに温泉場幹線他5施設を追加し計画変更するもの。

由布市職員等の旅費に関する条例の一部改正について

社会情勢の変化に応じた旅費制度の運用を図るため、包括旅行（パック旅行）の規定を見直し、県外出張における地域区分に応じた宿泊料金及び日当の額に改定するため、所要の条例整備を行うもので令和6年4月1日から施行するため、具体的には包括旅行の取り扱いを廃止し、2つの地域区分を設定したうえで額の改定を行うもの。

今後の社会情勢を見据えて、必要であれば見直しを行うなど柔軟に対応してほしいと意見を付した。

由布市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

由布市職員等の旅費に関する条例改正と同様の理由により、議員の費用弁償の旅費について同様の改正をするもの。

由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

市の財政状況を鑑み、市長、副市長及び教育長の給料を本年4月1日から翌年3月31日までの一年間、月額3%の減額を行うもの。

由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正と同様の理由により、職員の給料を本年4月1日から翌年3月31日までの一年間、一律1%の減額措置を行うもの。

由布市会計年度任用職員の報酬等に関する条例及び由布市職員の育児休暇等に関する条例の一部改正について

常勤職員に準じて会計年度任用職員に対して新たに勤勉手当を支給することに伴い、関連条例の整備を行うもの。

由布市職員の給与に関する条例及び由布市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について

職員の勤務1時間当たりの給与額の算出方法について、労働基準法の規定に基づき改正するため、関係条例を整備するもの。

由布市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人番号の提供に関する条例の一部改正について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの。

由布市税条例の一部改正について

入湯税の税率及び課税免除の対象者の見直しに伴い、条例改正するもの。入湯税は法定外目的税となるため、目的に沿った有効活用すること、また、入湯税だけでは市民に対し公平公正な課税とは言い難いため、新たな財源については、公平公正を期すよう目的税以外の調査検討を早急に行うよう意見を付した。

由布市消防手数料条例の一部改正について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令の公布に伴い、条例の改正を行うもの。

由布市監査委員条例の一部改正について

地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い条例の改正を行うもの。

由布市消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

消防団員の報酬の改定及び支給方法を定めるため、条例改正を行うもの。団員確保のため、今後も引き続き処遇改善の検討をするよう意見を付した。

大分市の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について

地方自治法第244条の3第2項の規定に基づき、大分市の公の施設の一部を由布市の住民の利用に供させることによるもので、大分市荷揚複合公共施設を対象とするもの。

別府市の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について

大分市との協議と同様に、別府市男女共同参画センターを対象とするもの。

由布市税条例の一部改正についてのみ賛成多数、その他の議案は全員一致で原案可決

教育民生常任委員会

由布市立中学校通学費の補助に関する条例の廃止について

中学校の遠距離通学に係る現行の補助制度について、条例と条例施行規則により運用していたものの条例を廃止し、規則により一元管理することによるもので、新たに教育委員会規則に統一するためのもの。

由布市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の改正を行うもの。

由布市介護保険条例の一部改正について

介護保険法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、令和6年度から令和8年度までの介護保険料を定めることにより、条例の改正を行うもの。

由布市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の公布等に伴い、条例の改正を行うもの。

由布市指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について

デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するための厚生労働省関係省令の一部を改正する省令の施行、及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴い、条例の改正を行うもの。

令和5年度由布市一般会計補正予算（第11号）

歳出の主なものとして、自立支援事業398万9千円の増額は、障害福祉サービス等における利用者、支給量の増加によるもの。

保育所活動給付事業1億211万6千円の増額は、保育士の人件費が改正になったことによるもの。

令和5年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出の総額からそれぞれ679万6千円を減額し、予算の総額を41億9,158万5千円とするもの。

減額の主な理由として、歳入では県支出金を、歳出では保険給付費及び保健事業費をそれぞれ減額するため。

令和5年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出の総額からそれぞれ1億4,385万3千円を減額し、予算の総額を44億1,246万1千円とするもの。

実績見込みに伴う減額。

令和5年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出の総額にそれぞれ1,274万円を増額し、予算の総額を5億6,419万8千円とするもの。

減額の主な理由として、歳入では保険料の増額と一般会計繰入金の減額、歳出では保険料の増加に伴う広域連合納付金の増額が主なもの。

全て、全員一致で原案可決

産業建設常任委員会

由布市都市公園条例の一部改正について

都市計画法に定める開発により挟間町内の公園2か所を由布市の都市公園として追加するもの。
委員からは、防災に関する配慮が望ましいとの意見が出た。

由布市水道事業給水条例の一部改正について

法律の公布に伴い、条例中「厚生労働省令」を「国土交通省令」に改めるもの。

由布市水道事業の設置に関する条例の一部改正について

地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、条ずれを起こす部分を修正するもの。

市道路線（若杉3号線）の認定について

湯布院町川上288番61地先～288番25地先(延長220m)

市道路線（若杉4号線）の認定について

湯布院町川上288番48地先～288番9地先(延長158m)

市道路線（鹿倉線）の認定について

庄内町野畑2266番4地先～2189番4地先(延長767.9m)

令和5年度由布市一般会計補正予算（第11号）

補正の多くは、入札残や事業実績確定による補正が主なもの。

歳出の主なものは、農業委員会費報酬517万8千円の増額は、能率給を支給するための減額と、交付決定による増額を合わせたもの。

有害鳥獣捕獲事業補助金809万3千円の増額は、捕獲頭数の実績によるもの。

DESTINATIONキャンペーン(DC)推進事業負担金535万円の減額は、運転手不足や災害のため計画していた運行が出来なくなったもの。

農業用施設災害復旧費の工事請負費9,832万7千円の減額は、今年度未発注となる工事費。復旧業務を継続していく。

令和5年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算から20万円を減額し、総額を1億2,933万2千円とするもの。

令和5年度由布市水道事業会計補正予算（第4号）

資本的支出の減額は、道路改良における水道管工事の着手時期が定まらず工事を取下げたもの。また、挟間浄水場倉庫等の解体において見積りより少なかったための減額。

	補正額	総額
収益的収入	103万6千円	8億8,727万6千円
収益的支出	△1,367万1千円	8億5,251万8千円
資本的収入	△1億6,160万4千円	4億3,356万円
資本的支出	△1億6,969万円	7億6,564万円

全て、全員一致で原案可決

視察研修報告

議会運営委員会

調査研修の期日 令和6年2月9日(金)

調査研修視察者 (委員長)佐藤郁夫、(副委員長)洲野けさ子、(委員)佐藤人己、太田洋一郎、田中廣幸
(オブザーバー)甲斐裕一、佐藤孝昭、(随員)議会事務局

別府市を視察して

1) 選挙公営制度について

選挙運動に関する公費負担制度は、お金のかからない選挙を実現することで経済力の有無にかかわらず、どの立候補者にも最低限度の選挙運動の機会を保障するとともに選挙の公平性を確保するため、国や地方公共団体が候補者の選挙運動費用の一部を負担するものです。

別府市では平成19年の統一地方選挙からこの制度を導入しています。若者の投票率を上げる等の議会改革をする中で、制度導入に向けての環境を整え平成17年に「別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」、「別府市議会議員及び別府市長の選挙におけるビラ作成の公

費負担に関する条例」を制定し、この規定に基づいて選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ポスターの作成並びに選挙運動用ビラの作成にかかる経費を一定の条件を基に公費で負担しています。(国の基準に準じた上限額を設定しています。)

導入経緯としては、平成13年の議会一般質問の代表質問の中で、別府市として導入について提言があったことがきっかけとなり、選挙管理委員会で検討を始め、平成17年に条例制定となっています。制定までには議会改革により議員定数の削減なども進み導入できる環境が徐々に整っていったとのことでした。

日出町を視察して

1) 選挙公営制度について

日出町は、令和2年12月の公職選挙法改正により町村議会でも、条例を制定することで公費負担が可能となったことを受け、令和3年4月に町議会から条例制定に関する要望書を提出。同年9月には条例を制定し、令和4年3月の町議会議員選挙において制度活用をしているとのこと。公費負担の種類は次のとおりです。

- ①選挙運動用自動車の使用(ハイヤー契約の場合)
- ②選挙運動用自動車の使用(レンタカー契約の場合)
- ③選挙運動用ビラの作成
- ④選挙運動用ポスターの作成

ポスター作成にかかる上限単価の算出方法について、企画費を国基準の4分の1の単価とし、実勢単価

とかい離しないよう設定していました。なお、選挙費用については地方交付税で財源措置されているとのこと。

2) 請願・陳情の取扱いについて

日出町議会は、県外から多数の陳情が提出されることもあり当該定例会における提出の締め切り日を議運前日の17時までとし、開会日以後の議会運営委員会にて上程の有無や付託委員会の協議をしているとのこと。上程しないと判断された請願・陳情については、タブレットにデータの配布のみとなります。また、請願・陳情は原則持参で提出するという取扱いとなっており、郵送受付になると基本的に上程しない取扱いとなっています。

まとめ

人口減少・高齢化社会を背景に、小規模自治体を中心に「議員のなり手不足」が各地で顕在化しています。由布市も、先に行われた市長選・市議選・県議選において無投票となりました。これは、市民の選ぶ権利を奪うものであります。

市民が議員等を選ぶ機会が減れば、住民ニーズを市政に反映することが困難な状況にもなりかねませ

ん。議会運営委員会として、「議員のなり手不足」の解決策、さらには議会改革を推進し、地方政治の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

請願・陳情の取扱いについては、市町村議会ごとに異なっていることもあり、由布市でも他の状況や実態の把握をしながら、今後十分な検討協議をする必要があると思います。

一般質問

市政を問う

- 吉村 益則 議員
- 加藤 幸雄 議員
- 田中 真理子 議員
- 坂本 光広 議員
- 志賀 輝和 議員
- 加藤 裕三 議員
- 佐藤 孝昭 議員
- 渕野 けさ子 議員
- 田中 廣幸 議員
- 佐藤 郁夫 議員
- 高田 龍也 議員
- 太田 洋一郎 議員

湯平の復旧復興について 他

「駐車場の使い勝手が悪い」の対応は 他

令和6年度由布市一般会計当初予算の重点施策について 他

能登半島地震に対して由布市としての支援は 他

児童発達支援センターの設置に向けた取組み状況は 他

由布市観光について 他

健康立市・由布市の健康増進について 他

子ども家庭センターの体制と事業内容は 他

由布市内の大規模災害時の市民への対応は 他

人口減少や超高齢化に伴う諸課題について 他

由布市の財政について 他

自衛隊の組織が変わるの？ 他



吉村 益則 議員

「湯平の復旧復興
について」 他

Q 湯平の復旧復興について。

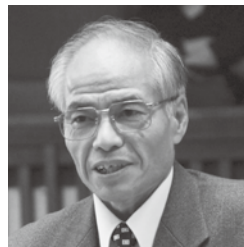
A 国庫補助事業として国の支援を受けて「ゆのひらんプロジェクト」と共に「湯平地域復興まちづくり基本計画」を作成し、緊急避難施設建設、遊歩道を兼ねた避難路整備などを行う。同時に、共同温泉についてはR6年度に新泉源確保の為のエアーリフトを設置し、配湯の準備を行う。

早期の復旧復興に取り組んでいるが、度重なる災害で思うように進まない現状ではあるが、県との協議を進め積極的な予算と整備により地域と寄り添った復旧復興に努める。

Q 不登校児童生徒への対応について。

A 臨床心理士や不登校支援員、児童生徒支援コーディネーターなど専門的な人員配置を行い取り組むと共に、児童生徒や家庭への訪問支援など長期的かつ持続的な相談支援を行い、子どもの居場所づくりの確保や教室復帰に向けての取り組みを教職員や関係者で協議し組織的に行う。

※他に、公共施設の整備について伺いました。



加藤 幸雄 議員

「駐車場の使い勝手が悪い」
の対応は 他

Q 「駐車場の使い勝手が悪い」の対応は。

A 野田駐車場を整備、庁舎裏公用車駐車場の開放、JR駐車場の2時間無料対応を行い、今後も利用者の利便性向上に努めていく。

Q 災害対策について、国道・県道の通行止め時の迂回路や離合場所について。

A 水地方面の道路は、非常時の代替え道路になる重要な路線であると認識している。維持管理は適切に行われていると思う。

Q 水害があるたびに陸の孤島になり脱出が不可能になる場所があるが、対応はどうしているか。

A 防災行政情報告知システムの屋外スピーカー、防災ラジオ、由布市公式アプリ「ゆふポ」、市ホームページ等から市内全域に幅広くお知らせし、早めの避難を呼びかけている。

Q 大谷さんグローブは怎么样了。頑張ろうという生徒は出てきそうか。

A グローブが届いてからキャッチボールをする児童が増えている。大谷選手のような人物が市内からたくさん生まれると信じている。



田中 真理子 議員

「令和6年度
由布市一般会計当初予算
の重点施策について」 他

Q 目玉となる重点施策・特別枠は、限られた予算の中で市民の満足度をどう高めるのか。

A 令和6年度の歳出総額は約227億600万円となり、過去最大規模の予算となっている。

市民提案型連携協働事業や地域公共交通事業など62事業に約22億9千万円。出産・子育て一体的支援事業や自立支援事業など39事業に約43億2千万円。保育所活動給付事業や小学校施設整備事業など90事業に約45億5千万円。中山間地域等直接支払対策事業や商工振興活性化事業など32事業に11億2千万円。由布市に住みたい事業、行政事務情報化推進事業に約28億7千万円。道の駅ゆふいん整備管理事業や観光振興事業など12事業に約1億7千万円計上。

42事業を重点戦略特別枠事業として、挾間地域では挾間小学校増築工事を、庄内地域では地域の課題解決に向けてまちづくり協議会の取組み、湯布院地域では旧湯布院公民館跡地整備工事の工事着手を行いたい。



坂本 光広 議員

「能登半島地震に対して
由布市としての支援は」 他

Q 能登半島地震に対して由布市としての支援は。

A 能登半島地震に対する自治体の支援については、東日本大震災の教訓を踏まえ、窓口を集約した体制をはかることとしており、職員の派遣については、総務省の公務員部、物資については内閣府防災担当が、被災地の状況を把握し取りまとめた上で、自治体の応援が必要と判断した場合に、全国知事会に要請し、各都道府県から管内の市町村に割り振られます。由布市としては、滋賀県への派遣要請があり、「金沢市内の1.5次避難所運営業務」に、2月20日から26日までの7日間職員1名を派遣しました。また3月15日から8日間、石川県珠洲市に「住宅被害認定調査業務」に1名派遣する予定となっています。

由布市独自の支援として、平成28年の熊本・大分地震の際、災害復旧にかかる寄付金を頂いた珠洲市へ2月8日に100万円の災害見舞金を送金しました。

※その他、由布市マスタープランについて質問しました。



志賀 輝和 議員

「児童発達支援センターの
設置に向けた取組み状況
は」 他

Q 由布市児童発達支援センターの設置に向けた取組み状況は。

A 令和5年度までに設置する目標で取組んだが、目標設置数に到達できていない。令和8年度末までの設置に向け引き続き取組んでいく。

Q 土砂等の小規模(3,000㎡以下)堆積行為の規制条例の制定は。

A 大分県の条例改正を注視しながら、市の条例を制定する必要があると判断した場合は条例の制定に向け準備をしていく。

Q 市道向原・別府線(北方工区)の道路改良工事について。
①北里団地下から中央線までの現在工事の完成と供用開始時期は。

A 工期は令和6年10月31日となっている。供用開始は交通規制装置等の設置後になる。

Q ②県道との交差点のあり方と、その供用開始時期は。

A 現在、都市景観推進課と建設課で計画の見直しを含め協議調整をしている。早期に供用開始できるよう大分土木事務所、大分南警察署等関係機関と協議を進めていく。

Q ③街灯の設置及び地元住民説明会の早期開催を求めた。



加藤 裕三 議員

「由布市観光について」 他

Q 由布市観光について。

A 外国人観光客はコロナ禍以前を超える状況にある。国・県の政策強化や円安の影響もあり、減少する事態は想像しにくい。こうした状況で、外国人観光客との共存・共生を図るため、「生活型観光地におけるレスポンスブル・ツーリズムの推進」に関する事業が、由布院地域で調査実施中で、ごみ処理やトイレマナー対応策及び大型観光バス対策等の方向性が示されつつあり、今後地域にあった具体的な取り組みを検討していく予定。新財源の導入もスピード感をもって進める。

Q 通学路の点検について。

A 「由布市通学路安全推進会議」を年2回開催し対策を協議している。昨年新規事案20箇所、継続案件、自治委員会連合会要望等を合わせ30箇所。本年度中の対応結果を取りまとめ、ホームページで点検結果を公表予定。今後、進捗状況を確認し引き続き関係部署に対策をお願いする。

※他に、「部活動の地域移行について」「市道尾下線の改修について」



佐藤 孝昭 議員

「健康立市・由布市の健康増進について」 他

Q WHOが健康な成人や高齢者は筋力トレーニングを週2日以上行うことが推奨されています。由布市の取組状況は。

A 由布市では高齢者の筋力を向上する取組として、お茶の間サロンや元気アップ教室等において自重の筋力トレーニングを取り入れた事業を行っている。

Q 取組は高齢者だけでなく、健康な成人の為に、挟間や湯布院にもあるような、筋力トレーニングマシンを整備した場所の提供を庄内地域にも設置してほしい。そして、例え有償でも利用率UPさせるため健康ポイントを付けるなどの工夫をして利用率や筋力UPの推進をしていただきたい。

※ほかに「国道210線の交通量を活用した道の駅的な拠点施設を整備しては」「マイホーム新築・購入応援奨励金制度や新築補助制度の創設を」「指定管理制度の選定審査や管理、今後のあり方は」「指定管理制度に民間提案制度の導入検討を」「ヒートショック対策を」等について質問しました。



田中 廣幸 議員

「由布市内の大規模災害時の市民への対応は。」 他

Q 由布市内の大規模災害時の市民への対応は。

A 市内で、大規模災害で孤立する可能性のある集落は27か所と発表されているが、防災マニュアルや洪水ハザードマップ、土砂災害周知避難マップを全戸配布している。また、避難所ではプライバシーの配慮として、段ボールベッドや保護 TENT 等を用意している。井戸水の利用については、市民所有なので水質の安全も含め考えていく。他市では登録対応している。

Q 学校、家庭、地域において児童生徒の保護者の活躍はどうあるべきか（PTA活動）。

A PTAの保護者の加入率は65%だが、9割を超える大規模校もある。コロナ禍で様相が変わり組織率が低くなった。地域の子ども会の解散においては、習い事などで子どもの多忙化や共働き世帯が増え、役員、リーダーのなり手がいないと考えられる。異世代の交流は重要であり、自主性、協調性、社会性、創造性などが養われる。今後も変わらず支援する。



湊野 けさ子 議員

「子ども家庭センターの体制と事業内容は」 他

Q 子ども家庭センターの体制と事業内容は。

A 今のサポートセンター機能を引き継ぎ活かしながら、子育てに困難を抱える世帯が顕在化している状況に対応できる様、母子保健・児童福祉の両機能の連携協働を更に深め、これまで以上に切れ目ない対応を目指す。

Q 南海トラフ等地震の大災害を想定して、BCP（業務継続）計画の実効性確保へ不断の見直しが不可欠。計画の見直し変更は。

A 地域防災計画の位置付けもあり、実効性ある業務継続体制を確保する為、状況の変化に応じた体制の見直しも含め検討する。

Q 大地震で大分川が取水口の挟間町水道が被害を受け分断されたら町民の飲料水はどうなるか。

A 取水出来ないで挟間給水区域全体が断水となる。応急給水を開始し公益社団法人日本水道協会発行の緊急対応の手引きに沿って日本水道協会に応援要請を行う。取水口にゴミ・土砂が入りにくくする改修工事を令和6年度に行う予定。耐震化や管路の更新を計画的に進める。



佐藤 郁夫 議員

「人口減少や超高齢化に伴う諸課題について」 他

Q 高齢者支援暮らしのサポートセンター事業の充実・拡大と利用状況で、体制整備の強化のため委託か直営化など見直しを予定していると聞くと、どうしていくのか。

A 暮らしのサポートセンターは来年度委託から直営に変更し、事業の整理並びにサポートセンターの体制整備・強化を図りたいと考えています。

Q 大規模災害へ対応するため業者の育成は課題です。どう取り組むのか。

A 行政として、工事が集中しないような施工時期の平準化、無理のない工期設定等、労働環境の改善に向け努力し、事業者としての企業力をつけていただける適正な指導を行っていきます。

Q JR日豊線、久大線に沿った2案が想定されている東九州新幹線計画について、市のスタンスと方針は。

A まずは、基本計画路線から整備計画路線への格上げに向けて、県内が一致団結することが重要。その上で、まちづくりへの影響を考え、慎重に判断する必要がある。



高田 龍也 議員

「由布市の財政について」 他

Q 由布市の新財源の検討状況について。入湯税を引き上げることで、増額する金額は。

A 令和4年度の収納状況から推測して約6,000万円の増額となる見込みです。

Q 新財源の使途検討状況は。

A 使途は鉱泉源の保護管理や観光振興などに要する費用に充てる。仮称『活用協議会』を設置し、適正な活用方法を探っていきます。

Q 由布市の土葬の取扱状況を伺う。

A 由布市条例上、土葬を禁止とは明記されていない。

Q 水道法中の責務として、『国及び地方公共団体は、～略～必要な政策を講じなければならない』とあるが、土葬によって土壌・水源に影響があるか調査をしているか。

A 調査はしていません。

Q 湯布院町の水源は湧水・深井戸、庄内町の一部、狭間町の上水道の水源は、大分川の表流水になっている。土葬をすることで、何らかの土壌や水質に変化が有るのか今後は調査研究されるのか。

A 今後は、調査研究をするべきだと考えております。



太田 洋一郎 議員

「自衛隊の組織が変わるの？」 他

Q 陸上自衛隊湯布院駐屯地の組織再編に伴い、地对艦ミサイル連隊が新設される計画について、配備されるミサイルが高射程となることから、有事の際に駐屯地が攻撃対象になるのではと不安との声を聞く。不安解消のため、又、湯布院駐屯地との良好な関係を維持するため由布市を介し防衛省に住民説明会を求める必要があるのでは。

A 一部の市民から不安の声があることや住民説明会の要望があることは湯布院駐屯地、九州防衛局に伝えている。今後も不安払拭に努める。

Q 一部の市民と言われたが、不安の声は徐々に広がっている。しっかりとした対応を求める。

A 直接そういった方々から要請もあった。しっかりに対応してほしい、そのことが市民の不安払拭に繋がると伝える。

A 引き続き情報収集を行い市民の安心安全に向けた取り組みを行う。

※その他、消防団の運営補助、自治体BCPについて質問しました。

大分県後期高齢者医療広域連合議会 報告

■令和6年第1回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会

日時／令和6年2月8日 午後1時30分

会期／1日間

場所／大分市（J：COMホルトホール大分3階大会議室）

出席／22名（4名欠席）



事件及び審議結果

○令和6年度大分県後期高齢者医療広域連合一般会計予算について

歳入歳出予算の総額を11億3,150万円とするもの。

歳入は、構成市町村からの事務負担金を10億1,699万円、財政調整基金からの繰入金1億1,430万7千円など。

歳出は、総務費に2億5,986万2千円など。

○令和6年度大分県後期高齢者医療広域連合特別会計予算について

歳入歳出予算の総額を2,212億7,800万円とするもの。

歳入は、市町村支出金を395億830万7千円など。

歳出は、保険給付費の療養諸費2,052億273万8千円など。

○大分県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

高齢者の医療の確保に関する法律104条第2項及び3項の規定に基づき、令和6年度及び令和7年度の保険料率を定めること及び後期高齢者医療保険料賦課限度額等を定めた政令が改正されたことに伴い、条例の一部改正を行うもの。

上記の3議案が上程され、提案理由説明、質疑、討論、採決が行われた結果、すべて賛成多数で可決されました。

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 淵野 けさ子

■ 令和6年第1回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願1	「陸上自衛隊湯布院駐屯地に新設される長射程ミサイル部隊」に関する請願書	大分県平和委員会 事務局長 日高 幸男	継続審査
請願2	「公平な官民境界確認を求める」に関する請願書	湯の坪の水路を守る会 代表 松尾 茂 他3名	採 択
陳情1	「湯布院駐屯地長射程ミサイル連隊配備」に関する陳情書	湯布院駐屯地「敵基地攻撃ミサイル」問題を考えるネットワーク 事務局 鯨津 憲司	継続審査

■ 賛否一覧表

〔令和6年第1回臨時会、令和6年第1回定例会〕

※○=賛成、●=反対、欠=欠席 議長（甲斐裕一）は採決に加わらない。
※その他の上程された議案については、欠席者を除き、全員一致で可決した。

議案名		議員名	議決結果	賛成	反対	甲斐裕一	佐藤孝昭	田中真理子	佐藤人己	洲野けさ子	佐藤郁夫	長谷川建策	鷲野弘一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	志賀輝和	首藤善友
議案2	令和5年度由布市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	14:2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案3	副市長の選任について	原案同意	12:4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案14	由布市税条例の一部改正について	原案可決	13:2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案36	令和6年度由布市一般会計予算	原案可決	13:2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

編集後記

穀雨のみぎり、由布市の皆様がお変わりなくお暮らしのことと存じます。

3月末には、卒園式・卒業式と新しい環境へ羽ばたいていく子供達を見送り、4月上旬では、入園式・入学式に希望に満ち溢れる笑顔に輝かしい未来を心から願いました。

4月中旬には、陸上自衛隊湯布院駐屯地に『第2特科団』が発足し、式典には相馬市長・防衛政務官のほかに、周辺首長や県議・市議らも参列されました。「鎮西の要として誇らしく頼りになる」と、市民から声を聞いています。また、約300人の隊員が由布市市民として新たに常駐します。

由布市議会は、第1回定例会において、新年度予算や議案の慎重審議を経て、令和6年度が開始されました。

新年度も議会だよりを通じて、議会の一端を報告できればと広報編集特別委員会一同、頑張っています。

野山も美しい青葉に覆われる好季節、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

高田 龍也

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

市議会ホームページ



議会広報編集特別委員会

委員長 志賀 輝和 副委員長 高田 龍也
委員 田中 真理子 加藤 裕三
洲野 けさ子 田中 廣幸
加藤 幸雄 坂本 光広
太田 洋一郎

次の由布市議会は 6月14日(金)に開会予定です(令和6年第2回定例会)